

# 北海道の印刷

10

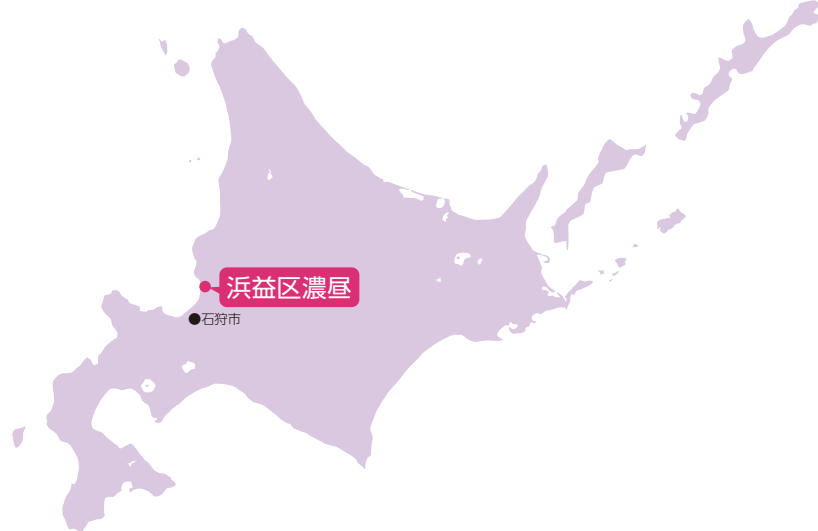
第821号

PRINTING INDUSTRY IN HOKKAIDO

2024年10月10日発行



濃昼川（石狩市浜益区濃昼）



## 北海道印刷工業組合

〒062-0003 札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル

TEL.011-595-8071 / FAX.011-595-8072

[Website] <https://www.print.or.jp> [E-mail] [info@print.or.jp](mailto:info@print.or.jp)



P-00023

この印刷物は、CSRに取り組み印刷会社が製作した印刷物です。

# 「チャレンジ&チャンス～『印刷“創注”+“造注”』～」 HOPE2024が盛況に開催

北海道印刷工業組合と関連4団体で構成するHOPE実行委員会が主催するHOPE(HOKKAIDO PRINT EXPO)2024が、「チャレンジ&チャンス～『印刷“創注”+“造注”』～」をテーマに、9月4日・5日の2日間、札幌市白石区のアクセスサッポロで開催され、展示会に2,615人、セミナーに195人、合計2,617人の来場者があり、出展者と来場者がコミュニケーションを図り、情報交流と学びの場として大いに賑わった。

HOPE2024は、情報発信の場としての展示会と学びの場としてのセミナーの2本立てで構成され、展示会は40社68小間、セミナーは実行委員会主催の基調講演、テクニカルセミナーの2セッション、出展5社主催の出展社企画セミナー5セッションの合計7セッションが行われた。

会期初日の9月4日午前9時30分から、来賓、実行委員会、出展社等、関係者約300人が出席して開会式が開催された。



岸 昌洋 氏

最初に、主催実行委員会メンバーの紹介が行われた。

主催者を代表して岸昌洋実行委員会会長（北海道印刷工業組合理事長）が、「これより開会式を執り行いが、本日は来賓として、多くの皆様に臨席賜わった。お忙しいなか、ありがとうございます。開会のあいさつに先駆け、まずは出展に協力いただいたメーカー、ベンダー、そして搬入搬出各種施工工事に携わっていただいた関係者の皆さんに実行委員会を代表して厚くお礼申し上げます。未だコロナが完全に収束せず、地震や大型の台風、豪雨災害など未曾有の事態が続いている。被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。我々印刷産業は情報の伝達をお手伝いすることを使命としている。日本全体で我々のお客様が困っている時こそ、我々の産業が役に立てるエンジンとなると考えている。今年のHOPE2024は、『チャレンジ&チャンス～印刷“創注”+“造注”』をテーマに、北海道の地で昨今の印刷産業が置かれている現状と、未来に向けた情報を共有する場として、自社を改革し変革し、お客様を、そして世の中が便利になる業態として位置付けられるそのヒントが詰まっている。1993年から歴史を繋ぎ、今年で31年目となる今の時勢にマッチしたイベントであると自負している。新しい形の産業として発展を続ける印刷産業を来場いた

だいた方自身の目で確認いただけることを切に願い開会のあいさつとする。今日から2日間どうぞよろしく申し上げます」と開会のあいさつを述べた。

つづいて、臨席いただいた来賓9人の紹介が行われ、代表して5人から祝辞が述べられた。



酒井哲也 氏

酒井哲也経済産業省北海道経済産業局地域経済部次長は、「HOPE2024が本日から2日間にわたって盛大に開催されることを心からお慶び申し上げます。また開催に当たって準備を進めてこられた実行委員会の岸会長を始め、関係者の皆さんの尽力に深く敬意を表す。現在、少子高齢化と人口減少という大きな課題への対応が迫られているなかで、DXの推進やAIの有効活用など、企業を取り巻く技術環境は大きく変化・進展している。また、SDGsへの関心が高まるなど、人々の価値観にも変化が見られている。こうしたなかで印刷業界におかれては、情報メディアの多様化、複雑化、それに伴う、印刷需要の変化、デジタル技術の急速な進展などさまざまな環境変化に直面されている。そうしたなかで開催される今年のHOPEは『チャレンジ&チャンス～印刷“創注”+“造注”』をテーマとして、デジタル化やDX、そして新たなビジネス展開に繋がる最新の機器や、技術・経営に関するセミナーなど、数多くの情報がここから発信されると伺っている。現在はさまざまなメディアからいろいろな情報を気軽に入手できる時代になったが、やはりこうしたリアルな場であるからこそ、得られる気づきや対話、そしてそこから生まれる知恵、ワクワク感、そういったものは貴重なビジネス機会に繋がると思う。イベントを通じて新たな出会いが数多く生まれ、そして皆さんのビジネスの成長・発展に繋がることを心から期待している。北海道経済産業局としてもデジタル化をはじめとする、生産性向上の取り組みをサポートするほか、適切な価格転

嫁を行いやすい取引環境整備に全力を挙げていく。皆さんには当局の支援施策を積極的に活用いただくことで、経営課題の解決、新たな事業領域の拡大等に繋げていただけると大変幸いである。HOPE2024の成功と実行委員会各団体の今後ますますの発展、本日出席の皆さんの健勝・活躍を祈念する」と述べた。



石川孝範 氏

石川孝範北海道経済部産業振興局産業振興課長は、「本日HOPE2024が、このように盛会に開催されることを心からお慶び申し上げます。本日このイベントを開催するに当たり、大変な尽力があったと思う。岸実行委員会会長を始めとして、関係者の皆さん本当にお疲れ様でした。心から敬意を表する。昨今、デジタル化ということで、大変な大きな波に飲まれていると思う。先日、業種は違うが、自動車産業の新しい次世代のエンジンを作るという研修会があり、私も参加してきたが、それでも、やはり新しいDX、IoT化、カーボンニュートラルということで産業を問わず、今そういった大きな波が来ていると思っている。なぜそのような大きな波なのかと考えたときに、数年前から、もちろんデジタル化は言われてはいるが、ここ1~2年でチャットGPT、生成AIが一般的に普及してきた大きな流れのなかで、今こういったいろいろな業界にわたって、デジタル化、DXの波が来ていると考えている。印刷産業においても、このような大きな変化に対応していかなければならないと思っている。これまでのノウハウを活かしながら、新しい価値を創造して、チャレンジが求められていると考えている。こうしたなか、今般HOPE2024が、このように盛会に開催されることを本当に嬉しく思う。同時にこれから新しい付加価値、生産性の向上、新しい印刷資材、情報機器等が今回展示されていると思う。セミナーも開催されると聞いている。これからの新しい本道印刷業のさらなる発展に大いに期待している。道庁としても、いろいろ販路拡大、新しい

事業展開、いろいろな業界で言われてる人材が足りないということで、人材育成、人材確保のいろいろな取り組みを我々も支援させていただいている。我々だけで対応できないことは経済産業局、札幌市とも連携して、皆さんの少しでも支援になるような取り組みを行っている。何かあれば気軽に、我々の方にも連絡いただければと思う。HOPE2024が新たな価値の創出に繋がるように実り多き今回のイベントになることを期待申し上げます」と述べた。



田中清敬 氏

田中清敬札幌市経済観光局産業振興部産業振興課長は、「本日、盛大にHOKKAIDO PRINT EXPO2024が開催されることを心よりお慶び申し上げます。岸実行委員会会長を始め、実行委員会の皆さんには準備を着実に進められてこられたことに敬意を表する。お集りの皆さんにおかれては、日頃より札幌市の産業振興政策に多大なる理解・協力をいただいていることに、この場を借り厚くお礼を申し上げます。印刷関連製造業の経営状況、社会環境を見てみると、人手不足の問題、原材料の高騰といった大きな課題に直面していると承知している。そして何より、コロナ禍を経て、ペーパーレスの推進ということで、紙需要、印刷需要の低下、もしかすると市役所の発注も含めて、少し低迷しており、大きな経営環境・状況があると承知している。そのようななかであって、製造工程の効率化、生産性の向上といったようなことが、課題になってくると承知している。本日から開催される2日間、このHOPE2024において新しい情報サービス機器、技術といったようなものを、展示いただく、あるいは、セミナー等でそういった機械を勉強させていただくまたとない印刷関連業

にとっての有意義な機会になるのではないかと承知している。札幌市の製造業の統計を見てみると、印刷関連製造業は食料品製造業に次ぐ事業規模、従業員数、生産規模を誇っている。我々としても、製造業の皆さん、印刷関連施策で皆さんからの意見、要望等を聞きながら札幌市の事業運営に活かしていきたいと思っているので、今後とも忌憚のない意見をいただければと思う。本大会が盛会のうちに終わられることを心よりお祈り申し上げ、本日お集まりの皆さんの事業運営の成長発展を心より祈念申し上げます」と述べた。



瀬田章弘氏

瀬田章弘全日本印刷工業組合連合会会長は、「今年もHOPE2024が、このように盛会のうちに開催されたことを心よりお慶び申し上げます。実行委員会岸会長をはじめ、委員会の皆さん、またメーカー、ベンダーの皆さん、これまでの準備での尽力に心より敬意を表す。全印工連では、今、価格競争から価値共創へという方針を掲げ、全ての事業、委員会活動を推進している。もう誰のためにもならない価格競争をやめて、価値創りを一緒にしよう。付加価値を高めていく、そして高クリエーションをしようということで活動している。そのなかで、この展示会というのは、大変有意義なものだと考えている。今言うまでもなくイノベーションというのは、偶然の出会いから生まれるものである。検索をすればいろいろな情報が手に入る時代であるが、実際に展示会に伺って新たなソリューションとの出会い、人と人との出会い、これが各社をさらに一歩前進させるものだと私自身は考えている。この2日間、メーカー、ベンダーの皆さんは余すところなく、自社のソリューションを伝えていただくたくとともに、多いに商売を繁盛していた

だき、来場者の皆さんは、この機会に新たな出会い、情報をしっかり自社に持ち帰っていただいて、自社の新たなイノベーションへの一歩となることならびに皆さんのさらなる健勝を祈念する」と述べた。



岡本泰一氏

岡本泰 一般社団法人日本グラフィックサービス工業会会長は、「先ほど岸会長が、31年の非常に長きにわたり、このHOPEを開催されていると話された。こんな状況が厳しいなかで、変革が求められているなかで、31年も継続されているのは本当に敬意を表す。当然、メーカー、ベンダー各社の力添えがあつてのことだと思うが、何とかこの業界をさらに盛り上げていきたいということで、先ほど瀬田会長からも話があつたが、今、製本とGC、JAGRA、全印工連が一緒になって、価格競争から価値共創へ脱却し、変化していこうということで、チャレンジしている。今回のテーマのまさしくチャレンジャーのチャンス、創注、造注ということである。これをこの31年続いているHOPEから発信して、北海道からまたさらに印刷業界盛り上げていく。JAGRAも一緒になって盛り上げていきたい。ご盛会おめでとうございます」と述べた。

つづいて、来賓の酒井哲也経済産業省北海道経済産業局地域経済部次長、石川孝範北海道経済部産業振興局産業振興課長、田中清敬札幌市経済観光局産業振興部産業振興課長、瀬田章弘全日本印刷工業組合連合会会長、岡本泰 一般社団法人日本グラフィックサービス工業会会長、松浦豊北海道中小企業団体中央会専務理事、岸昌洋HOPE実行委員会会長によりテープカットが行われ、HOPE2024が開幕した。



左から松浦氏、岡本氏、岸氏、酒井氏、石川氏、田中氏、瀬田氏

# HOPE2024 セミナー有意義に開催される

HOPE2024セミナーが、9月4日、5日の2日間、札幌市白石区のアクセスサッポロで、実行委員会主催の基調講演とテクニカルセミナー2セッションと出展5社主催の出展社企画セミナー5セッションの合計7セッションが好評を得て開催された。

セミナーを写真グラフで紹介する。

## 9月4日

### 基調講演

提供：HOPE実行委員会

テーマ：業界の展望と全印工連の取り組み

講師：全日本印刷工業組合連合会 会長 瀬田章弘 氏



### セミナー①

提供：富士フィルムグラフィックソリューションズ株式会社

テーマ：「戦略的縮小という成長モデル」の実現に向けて

講師：株式会社フロット 代表取締役 阿部和人 氏



### セミナー②

提供：シンクイノベーション株式会社

テーマ：日本トップクラスのグッズ制作会社社長が語るビジネス成功の秘訣「グッズビジネスセミナー/3Dフィギュアビジネス公開」

講師：シンクイノベーション株式会社 代表取締役社長 三輪直之 氏



## 9月5日(木)

### テクニカルセミナー

提 供：HOPE実行委員会  
テーマ：超実践！現場で使える生成AI最新テクニック  
講 師：スタジオねこやなぎ 代表 大須賀 淳氏



### セミナー③

提 供：リコージャパン株式会社  
テーマ：企業成長は「社員エンゲージメント+レジリエンス」で決まる！～社員が自発的に動き活躍する組織づくり～  
講 師：Sorriso 代表 戸谷有里子氏



### セミナー④

提 供：ハイデル・フォーラム21北海道地区会  
テーマ：印刷後加工が抱える課題に挑戦！～サステナブルな事業の実現～  
講 師：ハイデルベルグ・ジャパン株式会社 エクイップメントソリューションズ本部 足立正樹氏



### セミナー⑤

提 供：ホリゾン・ジャパン株式会社  
テーマ：現場を見える化すると会社はこんなに変わる～ワークフローシステムの上手な活用で仕事の「見えない」をなくそう！  
講 師：ホリゾン・ジャパン株式会社 APACマーケティング部セールスサポート課 セクションリーダー 松本俊介氏



# 令和6年度全国青年印刷人協議会北海道ブロック協議会 第30回北海道青年印刷人フォーラム開催される

地域業態変革計画～印刷アツギベンチャーが未来を変える

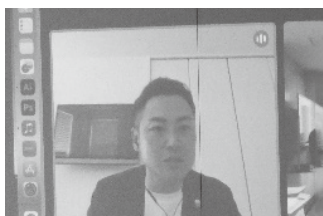
令和6年度全国青年印刷人協議会北海道ブロック協議会ならびに第30回北海道青年印刷人フォーラムが、8月31日午後1時から札幌市中央区のかでる2・7で、23人が出席して、「地域業態変革計画～印刷アツギベンチャーが未来を変える」をテーマに開催された。

協議会は、杉川真全国青年印刷人協議会議員の進行で行われた。



岸 昌洋氏

最初に、来賓として出席した岸昌洋北海道印刷工業組合理事長が、「私も委員の時から長らく全青協に携わっているが、ブロック協議会議長が不在という協議会は初めてで、前代未聞である。今日の北海道が今期のブロック協議会の全国で最初の開催となる。各ブロック協議会で理事長が招かれる設えになっている。親会としての立場と思うが年齢もそんなに変わらないし、世代も同じである。こうして土曜日に集まって、一堂に会しているの、折角のこの時間を無駄にしないでほしい。懇親会もあるので、今しか会えないという認識を持っていただきたい」とあいさつをした。



リモートで参加した下國委員長

次に、体調不良のためリモートで参加した下國延彦全国青年印刷人協議会副議長（北海道印刷工業組合同青年部委員長）が、開催地を代表して「今日は、令和6年度全国青年印刷人協議会北海道ブロック協議会・第31回北海道青年印刷人フォーラムに参加いただきありがとうございます。西日本に上陸している台風10号の影響で、残念であるが参加できなくなったメンバーもいる。先週の土曜日、東京で正副議長会議があり、今年のブロック協議会のトップバッターが北海道であったので、その日の懇親会で声高らかに乾杯のあいさつをさせていただいたが、まさか今日この日を自宅で迎えることになるとは想像もしていなかった。本当に申し訳ない気持ちと会場の皆さんと一緒に学びたかったという気持ちで一杯である。今日は長丁場となるが最後までお付き合いいただきたい。今日の学びが皆さんの明日への大きな第一歩となることを願っている」とあいさつした。

つづいて、西岡天芳全国青年印刷人協議会議長が、「今年から全国青年印刷人協議会議長を拝命している大阪の西岡と申します。どうぞよろしくお願いいたします。今期のテーマ『変態』は、私なりの問いかけである。突き動かされている衝動、ニッチな分野を皆さんも、地域



大阪万博キャラクター「ミャクミャク」のTシャツであいさつする西岡議長

の方も、いろいろな視点で持っていると思う。変態をどう活かしていけば次の事業に、未来につながっていくかを皆さんと考えたい。現状なかなか未来が見えないところにいると思う。イノベーションを興さなければならない。新たな前向きな気持ちで変化と変態を組み合わせていくのがイノベーションである。新しい熱量があると変革に繋がっていく。イノベーションは一人では出せないし思いつかない。今日ここに集まった皆さんの変態をさらけ出して、皆でイノベーションを興していく場になればと思う」とあいさつと、活動テーマについて述べた。

つづいて、田中英城全国青年印刷人協議会指名副議長が講師となり、「地域業態変革計画～アツギベンチャーが未来を変える」についてセミナーとグループワークが行われ、西岡議長が総括を行った。



# 令和6年度DTP技能検定のご案内

厚生労働省の令和6年度技能検定 プリプレス職種「DTP作業」が実施される。

DTP作業従事者の皆さんへの教育の一環として活用でき、スキルアップに繋がる。

令和6年度後期に実施されるプリプレス職種「DTP作業」の主な内容は次のとおり。

受検申請受付	令和6年10月7日(月)~同18日(金)
実技試験日	令和7年1月中旬~同2月上旬
実技試験会場	北海道立札幌高等技術専門学院（札幌市東区北27条東16丁目） 北海道立旭川高等技術専門学院（旭川市緑が丘東3条2丁目） ※受検者数によって1会場になる場合がある。
学科試験日程	令和7年2月9日(日)
学科試験会場	札幌市・旭川市・函館市・滝川市・北見市・室蘭市・帯広市・釧路市の指定する会場
実技試験内容	DTPアプリケーションを使用し、提示された指定書により、支給された課題データを組版・編集し、カラープリンターにより出力する。
受検区分	1級および2級
受検手数料	実技：18,200円/学科：3,100円
受検申請先	北海道職業能力開発協会 〒003-0005 札幌市白石区東札幌5条1丁目1番2号 北海道職業能力開発支援センター内 ※窓口での受付は行いません。簡易書留郵便等（配達状況が確認できるもの）で郵送する。
問い合わせ先	北海道職業能力開発協会または各地方職業能力開発協会

## 北海道最低賃金のご案内

令和6年10月1日改定

北海道内で事業を営む全産業の使用者およびその事業場で働くすべての労働者（臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む）に適用される北海道最低賃金（地域別）が、次のとおり改定されました。

最低賃金額	時間額 <b>1,010円</b> （令和6年10月1日改定）
-------	---------------------------------

○最低賃金には、精皆勤手当、通勤手当、家族手当、臨時に支払われる賃金および時間外等割増賃金は算入されない。

○最低賃金額以上の賃金を支払わない場合は、最低賃金法違反として処罰されることがある。





# HOPE 2024

HOKKAIDO PRINT EXPO

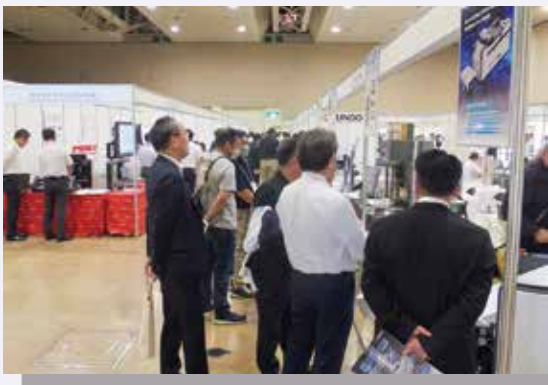
写真グラフ



HOPE2024ユニホームを着用した実行委員会メンバー



ご来賓の皆様



盛況を博した展示会



盛況を博した展示会



盛況を博した展示会



盛況を博した展示会



盛況を博した展示会



盛況を博した展示会



北海道の難読地名  
**濃屋**  
 難読レベル  
 ★★★★★☆

濃屋川（石狩市浜益区濃屋）

表紙の解説	
<b>濃屋（ごきびる）—石狩市浜益区濃屋</b>	
由来は、アイヌ語のポキンピリ「蔭の蔭」「水渦巻」。	
参考資料：北海道「アイヌ語地名リスト」 <a href="https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/ass/new_timeilist.html">https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/ass/new_timeilist.html</a>	

難読レベル	
★☆☆☆☆	道外の方でも読める
★★★★☆	道民のほとんどが読める
★★★★☆	道民の半分くらいが読める
★★★★☆	道民でもほとんど読めない
★★★★★	地域住民以外は読めない
※難読レベルは北海道印刷工業組合独自の基準です。	

